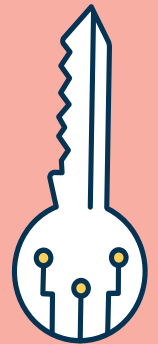
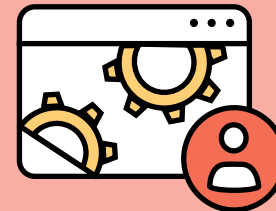


jamf



Appleデバイスの ゼロタッチ導入

初心者
ガイド



スマートでスピーディーかつ モダンな導入

職場に大量のAppleデバイスを導入する計画がある、またはリモート勤務のスタッフがセットアップ済みのデバイスを必要としていますか？あるいは、時間のかかる手動の導入作業からの脱却を考えていますか？もしくは、Appleデバイス導入の唯一の担当者としてより効率的な方法を探していますか？

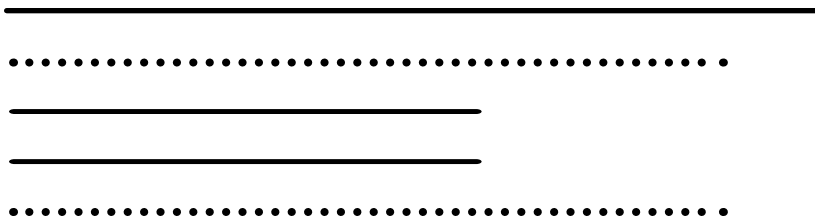
そんな質問に答えてくれるガイドをご用意しました。

このeBookでは...

Appleデバイス導入についてシンプルな言葉で説明し、組織内でMac、iPad、iPhone、Apple TVの導入を自動化する具体的な方法をご紹介します。



APPLEデバイス 導入プログラム の概要



Apple Business Manager (ABM) とApple School Manager (ASM) は、ゼロタッチ導入を可能にするために必要な機能を提供します。

これらのプログラムは、デバイスが開封され、電源が初めて入れられた瞬間にシリアル番号を認識し、そのデバイスをモバイルデバイス管理 (MDM) サーバに自動的に登録します。また、AppleからAppとブックのライセンスを調達し、MDMソリューションを介してリモート導入・管理することも可能です。

デバイスの自動登録 MDMサーバに自動的にデバイスを登録する方法

Appとブック Appのライセンスを一括購入する方法

どちらの方法でも、Apple IDを使わずにデバイスの構成やアプリの導入を行うことができます。Apple IDは、デバイスのユーザが誰であるかを知るためのユニークな識別子です。このプロセスをシンプルにするために、Apple IDの設定と管理をIT部門に完全に委ねることを可能にする「管理対象Apple ID」の利用が可能になり、エンドユーザがIDとパスワードを作成したり覚えたりする必要がなくなりました。





APPLEデバイス 導入プログラム の概要

嬉しいことに、ABMとASMは無料で利用できます。唯一の条件は、デバイスをApple認定の販売店から調達することだけです。

古いものからの脱却

Apple Business ManagerとApple School Managerに加えられた変更により、以前使われていたいくつかの用語がアップデートされました。

Device Enrollment Program (DEP) → 自動デバイス登録

Volume Purchase Program (VPP) → Appとブック

DEP + VPP → Apple Business Manager (ビジネス向け)

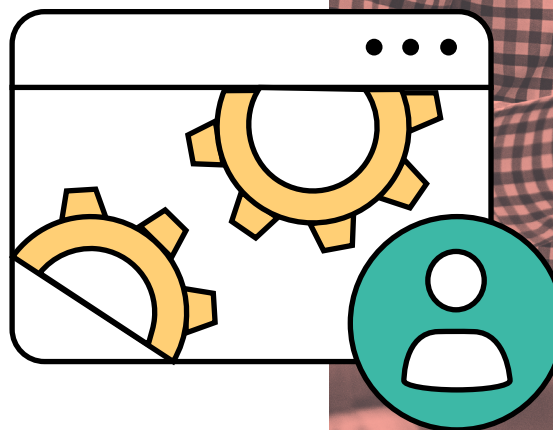
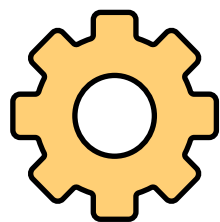
DEP + VPP → Apple School Manager (教育機関向け)

ゼロタッチ導入 のメリット

Apple製品の導入プログラムに関する知識を得たところで、次はなぜ組織の環境でゼロタッチ導入を採用すべきなのかについて見ていきましょう。

IT部門が忙しいのは周知の事実です。ユーザからの問い合わせやネットワークの問題、様々なサービスにおけるアカウントのプロビジョニング、ハードウェアのリクエスト、ソフトウェアの導入、その他の一般的なリクエストなど、ひっきりなしに対応しなければなりません。

さらに、デバイスを開封して電源を入れ、ユーザに渡す前に構成するという作業も加わり、その他のことに対応する時間はほとんどありません。ゼロタッチ導入の採用でこれらのタスクを自動化して、ユーザが自分で解決できるようにすれば、IT部門の時間とコストを節約することが可能になります。



macOSの登録 オプション

デバイスを登録する方法はいくつかあります。

macOS	説明	ユーザ体験	最適なケース
Apple Business Manager またはApple School Manager による自動ゼロタッチ登録	自動登録機能(無線)	ユーザがデバイスを受け取って電源を入れた瞬間に自動的に構成されます	デバイスを開封してすぐに使用を開始したい場合。 ゼロタッチ導入のメリット： <ul style="list-style-type: none">リモート勤務の従業員へデバイスを直接発送スピーディーなセットアップ教育機関にMacプログラムによる支援を提供
ユーザ主導の登録	MDMサーバが作成したURL経由でユーザがMacを登録してもらいます	ユーザが特定のURLにアクセスし、デバイスの設定を行います	BYODプログラムを採用している、またはゼロタッチによる自動登録が不可能な場合
ネットワークスキャン	ネットワークをスキャンして既存のMacを探し出し、登録パッケージを導入	IT担当者による作業が必要になります。同じネットワーク上にあるMacを探して、MDM経由でリモート登録を行います	同一ネットワーク上にあることが分かっている多数のMacを一括登録したい場合

組織の時間を節約し、優れたユーザエクスペリエンスを維持するためにも、Apple School ManagerまたはApple Business Manager経由でMacのゼロタッチ導入を行うことを推奨します。

macOSの登録 オプション

Jamf Connectを使うことで、一段上のプロビジョニングが実現 します。

クラウドID認証情報に基づいてユーザが必要とするリソースを新しいMacにプロビジョニングすると、各エンドユーザのニーズに合ったセットアップ体験を提供することができます。Okta、Microsoft Azure Active Directory、Google CloudなどのクラウドIDプロバイダやAppleの登録カスタマイズ機能に対応したJamf Connectは、セットアップ体験を向上させるとともに、もっとも包括的かつ最新のゼロタッチプロビジョニングを可能にします。

その他のメリット

- クラウドIDプロバイダとMacの間で単一の認証情報を使用できるので、ログインが簡単になります。この認証情報は無期限に同期されます
- すべてのユーザがデバイスとアプリケーションで同じクラウドID認証情報(ユーザ名とパスワード)を使用するので、IT部門にとってMacフリートの管理が楽になります
- ログインのたびに多要素認証が行われるので、デバイスを使っているのが正しいユーザであることを確認できます

Jamf Connect

iOS/iPadOS/ tvOSの登録 オプション

 iOS/iPadOS/tvOS	説明	ユーザ体験	監視	最適なケース
Apple Business Manager またはApple School Manager による自動ゼロタッチ登録	自動登録機能(無線)	ユーザがデバイスを受け取って電源を入れた瞬間に自動的に構成されます	あり(無線)	デバイスを開封してすぐに使用を開始したい場合。ゼロタッチ導入のメリット： <ul style="list-style-type: none"> • リモート勤務の従業員へデバイスを直接発送 • スピーディーなセットアップ • Appleプログラムによる教育機関のサポート
ユーザ主導の登録 (URL使用) *tvOSでは使用できません	MDMサーバが作成したURL経由でユーザ	ユーザが特定のURLにアクセスし、デバイスの設定を行います	Apple Configurator 経由 (MDMは取り外し可能)	管理されていないリモートデバイスがある場合、またはデバイスを新しいMDMサーバに再登録する必要がある場合 *適用できない場合もあり
Apple Configurator	USB経由で接続されたMacアプリによる登録	ITがセットアップを行い、デバイスをユーザに渡します	あり	Apple Business ManagerまたはApple School Managerが使用できない場合 *かなり時間がかかります **一部の最新Apple TVモデルの中にはUSBポートがないものがあります。その場合、イーサネットケーブルが必要です。

組織の時間を節約し、優れたユーザエクスペリエンスを維持するためにも、Apple School ManagerまたはApple Business Manager経由でiPad/iPhone/Apple TVのゼロタッチ導入を行うことを推奨します。

ゼロタッチ登録 のワークフロー

ゼロタッチ登録の導入には、「準備」「購入」「導入」の3つの基本ステップがあります。

準備	購入	導入
<ol style="list-style-type: none">1. Apple Business ManagerまたはApple School Managerにサインイン2. MDMサーバにアカウントを紐付ける3. 登録設定を構成	<ol style="list-style-type: none">1. Appleデバイスをオーダー*2. 登録するデバイスを割り当てる <p><small>*AppleまたはApple製品販売代理店からの購入が必要です。</small></p>	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスをユーザに送る2. ユーザがデバイスを開封し、電源を入れる3. デバイスが自動でMDMに登録される



macOS/iOS/ iPadOS/tvOS 向けMDM

Apple製品の導入プログラムとMDMのペアリング

MDMサーバは、Apple Push Notification service (APNs) を介してデバイスと通信し、動作を指示します。デバイスとの通信が継続的に行われるため、IT管理者は何もする必要がありません。コマンドやアプリ、プロファイルなど、すべてがデバイスに向けてリモート送信されます。

MDMソフトウェアは、Appleのオペレーティングシステムに組み込まれているMDMフレームワークを活用しています。MDMソリューションを利用することで、適用したい様々な設定に基づいて構成プロファイルを構築し、APNsを介してリモートでデバイスにプッシュすることができます。XMLファイルである構成プロファイルは、Jamf Proを使って作成することが可能です。



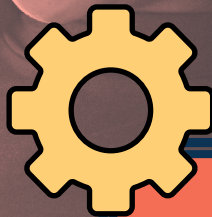
macOS向けモバイルデバイス管理



macOSは堅牢なプラットフォームです。ユーザアカウントの変更やターミナルコマンドの送信、サードパーティアプリやパッケージの導入などを行うためには、ベースラインを超えた制御を手に入れる必要があります。

クライアント管理を活用すると、デバイスの登録後に自動的にMacエージェントまたはバイナリをインストールし、管理対象のMacをより詳細に制御することができます。これにより、隠れた管理者アカウントが追加され、高度なポリシーやカスタムスクリプトの実行、カスタムソフトウェアのインストールなど、さまざまな操作を可能にするリモートルートアクセスが付与されます。

MDMフレームワークとMacエージェントを組み合わせることで、Macの構成と管理を総合的に制御することができるようになります。



PKG/DMGのインストール



FileVaultの適用



クラウドアイデンティティとの統合



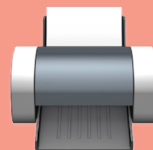
スクリプトの実行



Dockのカスタマイズ



EFIパスワードの設定



プリンタのインストール



アカウントの作成



ソフトウェアアップデートの設定

導入後の サービス

ユーザに必要なツールを提供するのはデバイスの導入時だけではありません。引き続きゼロタッチで提供し続けることができます。JamfのSelf Serviceアプリは、リソースやコンテンツ、信頼できるアプリへの迅速なアクセスをエンドユーザに提供します。ワンクリックでアクセスできるため、ITのサポートは必要ありません。

- App Store、B2B、自社アプリ、サードパーティーソフトウェアへのアクセス
- メール、VPN、その他の構成
- 電子書籍、ガイド、動画
- ブックマークとショートカット
- プリンタのマッピングやドライバ
- ヘルプデスクへの問い合わせやハードウェアのリクエスト
- パスワードのリセットやコンプライアンス情報
- 基本的なメンテナンスやシステム診断
- ソフトウェアやOSのアップグレード
- シングルサインオン(SSO)との統合

IT部門は特定のユーザのニーズに合わせてSelf Serviceをカスタマイズし、ユーザは必要なものを探し出して素早くダウンロードすることができます。

IT部門がユーザをケアすることで、ユーザはデバイスを手に入れた後もずっとITの助けを借りずに仕事を進めることができます。





APPLEに特化した エコシステム管理

これらの導入プログラムを最大限に活用するためには、Apple製品のために設計されたMDMソリューションが必要です。業界トップのエンタープライズ向けAppleデバイス管理ソリューションを提供するJamfは、エコシステム全体で一貫した管理体制を確立したいと考える企業や学校から大きな信頼を得ています。

Jamfのソリューションでできること

プロビジョニングに
かかる時間の削減

80%

アプリのインストールやアップデ
ートにかかる時間の削減

90%

IT部門への問い合わせ
件数の削減

15%

ソフトウェアライセンスに
かかるコストの削減

2%

エンドユーザの生産
性低下の削減

10%

手のかからない デバイス導入

Apple Business ManagerやApple School Manager経由でデバイスをMDMに自動登録すると、すべてのデバイス設定やアプリ構成をJamfが行ってくれるため、Appleデバイスの導入に時間をかける代わりに組織のためになるプロジェクトに集中することができます。

Appleデバイスの導入や管理の自動化にJamfを活用するメリットをぜひ体験してみてください。

無料トライアル

にお申し込みいただくか、お近くのApple販売代理店までお問い合わせください。